

科目名	成人看護方法Ⅱ(慢性) Adult Nursing Ⅱ		担当教員 (研究室番号)	大川 明子 (305)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	akiko.okawa@mcn.ac.jp					
履修年次	2年次後期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
科目目的	慢性疾患を有する人とその家族が抱えている問題を身体的、心理的、社会的特徴から理解し、慢性期看護における理論・概念を用いて看護援助を修得する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	E 看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につけている。 (知識・理解)										
	関連するDP	F 人々の健康的な生活を支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する技能を身につけている。 (技能・表現) G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・論理的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
到達目標	1. 慢性疾患および治療・変化している療養環境について説明できる。 2. 慢性疾患における看護の役割について説明できる。 3. 慢性疾患を有する人とその家族への援助について説明できる。 4. 慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療について説明できる。											
成績評価方法(基準)	筆記試験80%、レポート20%											
再試験の有無と基準等	定期試験を受験し不合格となった場合、再試験を実施する。再試験は筆記試験のみとする。											
教科書	成人看護学 慢性期看護 (南江堂)											
参考書等	系統看護学講座 人体と構造と機能〔1〕解剖生理(医学書院) 看護のための臨床病態学(南山堂)											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	これまでに学んだ解剖生理学を想起し慢性疾患の理解につなげる。 事前学習と事後学習に時間をかけ、授業内容の理解と知識の定着につなげる。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	慢性疾患の特徴、慢性期看護の役割、その専門職とチーム医療				慢性疾患を有する人の特徴、病気の受け入れるプロセスや自己概念への影響について知ることができる。そして、慢性疾患を有する人とその家族への援助について学ぶ。				大川	講義		
2回	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助				気管支喘息、慢性呼吸不全(慢性閉塞性肺疾患患者(COPD)を含む)の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、患者および家族への援助について学ぶ。				大川	講義		
3回	循環器系の障害を有する人とその家族への援助				高血圧、不整脈、虚血性心疾患、慢性心不全患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。治療の受け入れが困難な事例を考える。				大川	演習		
4回	消化器系の障害を有する人とその家族への援助				胃・十二指腸潰瘍、慢性肝炎、肝硬変、潰瘍性大腸炎、クローン病患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。				大川	講義		
5回	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助				糖尿病、甲状腺機能障害患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。セルフモニタリングの教育が必要な事例で考える。				大川	演習		
6回	腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助				慢性腎不全患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。				大川	講義		
7回	血液・免疫系の障害を有する人とその家族への援助				HIV感染症、関節リウマチ患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。				大川	講義		
8回	脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助				脳梗塞、筋萎縮性側索硬化症患者の治療法を知り、その治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。退院調整、社会資源の活用が必要な事例で考える。				大川	演習		

学 習 課 題	
1回	事前学習：本科目のシラバスを熟読する。なお、本授業時シラバスを持参のこと。 事後学習：「慢性期看護の役割」についてまとめる。
2回	事前学習：慢性呼吸不全(COPDを含む)の病態についてまとめる。 事後学習：「在宅酸素療法導入時の指導」についてまとめる。
3回	事前学習：行動変容について調べる。 事後学習：「慢性心不全を有する人の看護援助」についてまとめる。
4回	事前学習：潰瘍性大腸炎の病態についてまとめる。 事後学習：「病みの軌跡」理論についてまとめる。
5回	事前学習：自己効力感について調べる。 事後学習：「低血糖時の対処」についてまとめる。
6回	事前学習：慢性腎不全の病態についてまとめる。 事後学習：「透析時の看護」についてまとめる。
7回	事前学習：関節リウマチの病態についてまとめる。 事後学習：「セルフケア不足」理論についてまとめる。
8回	事前学習：ボディイメージの変容についてまとめる。 事後学習：「社会資源を活用した退院調整」についてまとめる。

なお、第2,3,4,5,6,7回目の授業開始前に、前回の「A4サイズ1枚」にまとめた事後学習の記録を回収する。

実務経験を活かした教育の取組

- ・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。
- ・行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。